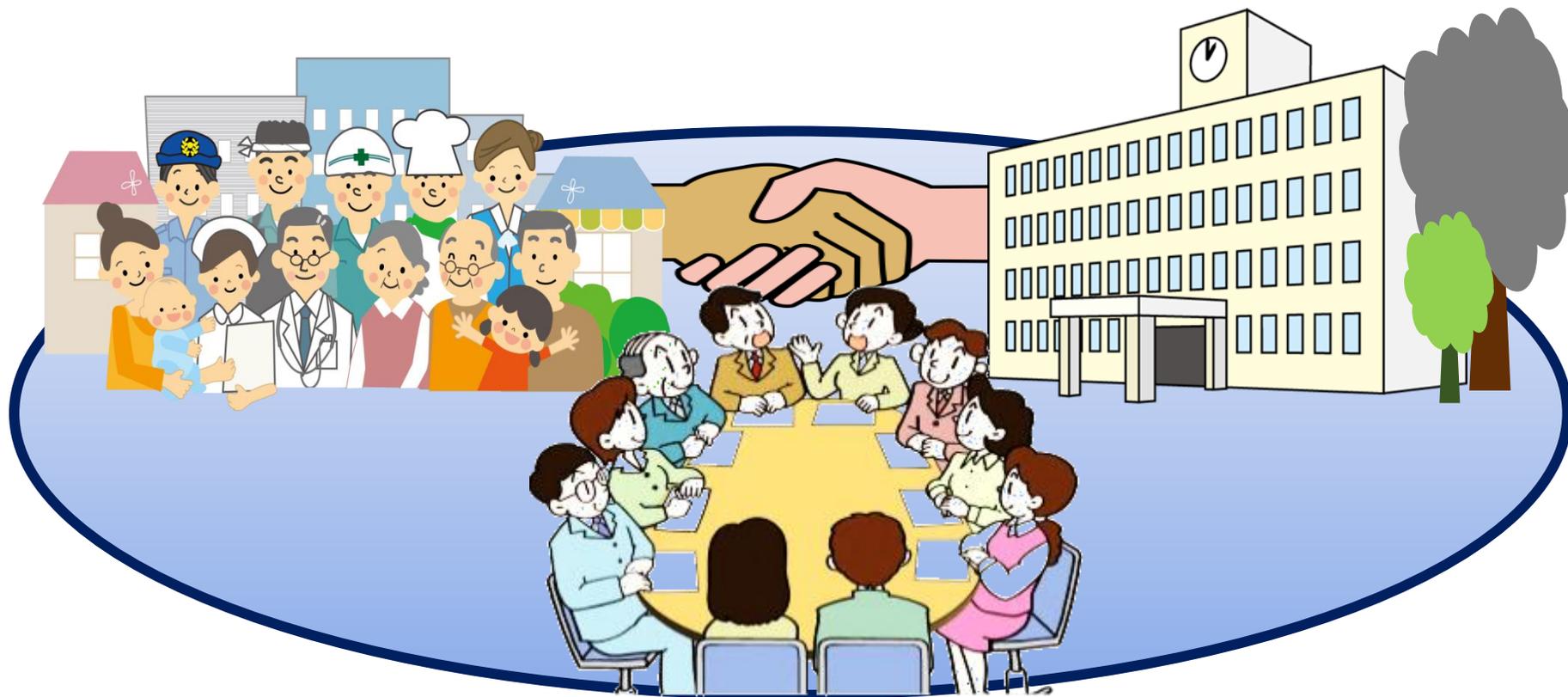


岩手県における 学校と地域の連携・協働の現状について



教育振興運動・地域学校協働活動「教振標語コンテスト」



小中学生の部	氏名	学校名	標語
最優秀賞	すずき りゅうと 鈴木 龍海十	大船渡市立 末崎小学校	実体験 興味のとびら 無限大
優秀賞	おかべ なるめ 岡部 親芽	盛岡市立 津志田小学校	できたがうれしい できればじしん まなびのじかん
教ちゃん 振ちゃん賞	かんの ゆめ 菅野 結芽	盛岡市立 城北小学校	お母さんの丸 見れば見るほど がんばれる
	おおつた めい 大蔦 明咲	盛岡市立 仙北小学校	可能性は無限大 家庭学習は夢への 貯金箱
	さいとう けんた 斎藤 健太	奥州市立 前沢中学校	楽しもう 学んで広がる 世界観
	たかはし りく 高橋 璃空	北上市立 和賀西中学校	社会体験学習 地域を知って 大好きに
	おおむかい かほ 大向 夏帆	久慈市立 小袖小学校	いそたいけん まてまてカニさん とどかない

いわてが誇る教育振興運

教育振興^動運動 1965年スタート

学校・家庭・住民等が総ぐるみで、地域の教育課題の解決に自主的に取り組む**岩手県独自の教育運動**。

学校だけに教育課題
を抱え込ませない！

子ども・家庭・学校・地域・行政の5者が協力し、**それぞれの責任を果たしながら**、地域の教育課題の解決に取り組む運動。

1 岩手県における地域と学校の連携・協働の経緯

「学校・教師が担う業務に係る3分類」を徹底するための取組

【参考】3分類に基づく14の取組

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、 必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、 負担軽減が可能な業務
<p>①登下校に関する対応</p> <p>②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理</p> <p>④地域ボランティアとの連絡調整</p> <p>※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</p>	<p>⑤調査・統計等への回答等 (事務職員等)</p> <p>⑥児童生徒の休み時間における対応 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑦校内清掃 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑧部活動(部活動指導員等)</p> <p>※ 部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。</p>	<p>⑨給食時の対応 (学級担任と栄養教諭等との連携等)</p> <p>⑩授業準備 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑪学習評価や成績処理 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑫学校行事の準備・運営 (事務職員等との連携、一部外部委託等)</p> <p>⑬進路指導 (事務職員や外部人材との連携・協力等)</p> <p>⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応 (専門スタッフとの連携・協力等)</p>

1 岩手県における地域と学校の連携・協働の経緯

【全県共通課題の取組状況】

	取組状況		取組成果	
	R2	R6	R2	R6
取組状況：「非常によく推進」及び「概ね良好に推進」と回答した市町村の割合 取組成果：「非常に高い成果」及び「概ね満足できる成果」と回答した市町村の割合				
①「情報メディアとの上手な付き合い方」の取組	85.1%	91.7%	78.7%	77.8%
②コミュニティ・スクールとの連携による、「目指す子どもの姿」の共有に基づく運動の展開	65.9%	80.6%	66.0%	86.2%

【各指標の達成状況】

・コミュニティ・スクール設置市町村数（市町村）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	11	25	33	75.0 [※]	80.0 [※]
実績値	11	17	33	79.7 [※]	92.4 [※]

※ R4にR6の目標値(33)を達成したため、R5以降の指標を見直し
R5以降の指標【コミュニティ・スクールを導入している学校の割合(%)】

・地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合(%)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
小	100	100	100	78.0 ^{※1}	95.9 ^{※1}
中	91.8	93.2	94.6	61.8 ^{※1}	88.0 ^{※1}
高	92.7	96.6	97.3	87.3 ^{※1}	— ^{※2}

※1 R4にR6の目標(小100、中97.4)をほぼ達成したため、R5以降の指標を見直し
R5以降の指標【保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合(%)】
※2 R6実績値は不明(R6全国学力・学習状況調査において実績値を測る調査項目が無くなったため)

・教育振興運動として計画的に取り組みされている地域活動件数(件)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	4,684	4,914	5,144	95.7 [※]	95.7 [※]
実績値	3,411	3,429	3,852	95.8 [※]	94.5 [※]

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、R5以降の指標を見直し
R5以降の指標【教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村地区の割合(%)】

【成果】

- ・ 8割以上の市町村で全県共通課題について取り組まれ、また、各指標の目標はおおむね達成された。
- ・ 全県共通課題の取組について、多様な話し合いの場が設定されたことで、地域の実態の把握とともに当事者意識も高まり、取組の内容が改善され、関係機関や関係者の連携によって取組の展開、充実が図られた。(令和6年度地域学校協働活動・教育振興運動の推進状況調査結果より)

・放課後子ども教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合(%)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	60.0	80.0	100	75.0 [※]	80.0 [※]
実績値	67.0	67.0	73.1	76.3	80.4

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、R5以降の目標値を下方修正
R5目標値：100→75.0、R6目標値：100→80.0

・「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合(%)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
小	47	48	50	90 [※]	90 [※]
中	46	48	51	85 [※]	85 [※]
高	44	48	52	85 [※]	85 [※]
小	46	44	44	86 [※]	85 [※]
中	40	40	37	81 [※]	81 [※]
高	39	40	32	82 [※]	80 [※]

※ 読書に前向きな姿勢を持つ児童生徒の割合を測るため、R5以降の指標を見直し
R5以降の指標【「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合(%)】

・子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数(人)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	550	575	600	615 [※]	625 [※]
実績値	579	559	892	647	1,044

※ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、R5以降の目標値を下方修正
R5目標値：625→615、R6目標値 650→625

【課題】

- ・ 読書活動や体験活動を中心に、児童生徒の充実度や達成感を高めるため、取組の企画段階から児童生徒も参画するなどの工夫が必要である。
- ・ 「情報メディアとの上手な付き合い方」については、今後も情報メディアの環境変化、最新の内容や事例等の更新とともに、関連したタイムマネジメント、学習や体験の環境整備等を視点にした取組の充実や展開が求められる。(令和6年度地域学校協働活動・教育振興運動の推進状況調査結果より)

1 岩手県における地域と学校の連携・協働の経緯



教育振興運動とは

- 子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が、それぞれの役割と責任を果たしながら、互いに連携して地域の教育課題の解決に取り組む運動です。
- 1965年の運動開始当初は「学力向上」を目指した取組が行われ、その後「健全育成」をテーマにした取組や、「メディアとの上手な付き合い方」などの全県共通課題の設定のもと、各実践区での取組が行われてきました。



課題設定の背景

- 「令和5年度全国学力・学習状況調査」において、本県の児童生徒の強みもありましたが、正答率や学習意欲等の課題が見られる状況でした。また、不登校の児童生徒数も増加している状況です。
- 教育振興運動の推進状況について、「学力向上」を課題と捉えている割合・取組が減少しており、各実践区の課題意識や取組に現状との隔たりが見られたため、これらの課題に資する取組を開始するものです。



目指す子どもの姿

- 2つの全県共通課題に対する取組を進めることで…
- いつでもどこでも学べる環境の中で、学習意欲が向上し、「確かな学力」を身に付けていく子ども。
 - 多様な体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験、読書、遊び、手伝い等）を経験し、「自尊感情」「外向性」「精神的回復力」「向学的な意識」「肯定的な未来志向」等が高まる子ども。



家庭学習の充実

- 公民館や図書館等の地域の社会教育施設を活用した学習の場づくりを推進することにより、学習意欲の向上に資することが期待されます。
- 学習をサポートする地域人材の発掘や活用により、地域の大人が地域の子どもの育てる意識を高め、児童生徒の確かな学力の育成にもつながります。
- 本プランにおける「家庭学習」は、自宅で行う学習の他、地域の施設等を活用して行う学習、ボランティア等の支援による学習などを含めた学校の授業以外での学習全般を指します。

教育振興運動推進プラン (2024~2028)

全県共通課題
各地域の教育課題、児童生徒の現状に鑑み、全県的な喫緊の教育課題解決に資するため、全県共通課題として掲げ、取組を推進します。

家庭学習の充実

「確かな学力」を支える学校以外の学習環境の充実



体験活動の充実

豊かな成長を支える多様な体験活動の経験



◀ 地域の大人が地域の子どもの育てる



体験活動の充実

- 多様な体験活動の経験を通して、上記にあるような「自尊感情」等が高まることにより、不登校の課題の解決に資することが期待できます。
- 体験活動をサポートする地域人材の発掘と活用を通して、地域みんなでの子どもの育成に関わる意識を高めることにつながります。
- 文部科学省の調査によって、様々な体験活動を多く行っている子どもほど、「自尊感情」や「向学的な意識」が高いことが明らかになっています。



課題解決に向けた取組

- 【県教育委員会では】
- ・ 本プランの説明および理解促進（各種会議、フォーラム、発信活動等）
 - ・ 登録ボランティアの活用促進
- 【市町村及び実践区では(例)】
- ・ 本プランの理解促進と周知啓発
 - ・ 学校運営協議会や社会教育施設等との連携による取組の推進



地域学校協働活動 コミュニティ・スクール

- 地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」と学校運営協議会制度を設置した「コミュニティ・スクール」は、地域の実態に応じて、「教育振興運動」の組織やその理念を基盤としたり、連携・共有したりしながら運動が進められています。



教育振興計画と連動

- 喫緊の課題解決に向けた取組を速やかに進める必要があることに加え、岩手県教育振興計画(2024~2028)と計画期間を一致させることで、効果的な取組の推進を図ることが期待できます。
- 【岩手県教育振興計画(2024~2028)からの抜粋】
- ・ 児童生徒の学習内容の定着と学習意欲の向上のため、自主的かつ計画的な家庭学習の充実に取り組みます。(P25)
 - ・ 教育振興運動と連携した、中堅一学校・家庭・地域が連携した多様な体験活動を推進します。(P31)



プラン推進の工程

	2024	2025	2026	2027	2028
年間計画、実施計画、取組計画					
行事計画・連携、実践の共有化					
00周年記念大会					
課題の克服、改善点の検討・修正					
実践の評価・まとめ					

岩手県教育振興計画(2024~2028)

令和7年度 目標値

教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合
95.7%

生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの
人材登録者数
1,000人

学校の宿題だけでなく、
自主学習に取り組んでいる
児童生徒の割合
小:65% 中:59% 高:54%

県立青少年の野・外活動
センターにおける利用
者の満足度の割合
97%

放課後子供教室において指
導者を配置して「体験活動」
を実施している教室の割合
85.0%

学校や地域が行う体験活動
に参加し、達成感や有用感
をもった児童生徒の割合
小:87% 中:87% 高:90%

「読書が楽しい」と感じる
児童生徒の割合
小:90% 中:85% 高:85%

2 岩手県における地域と学校の連携・協働の現状

地域と学校の連携・協働体制構築事業

～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

令和6年度予算額 71億円
(前年度予算額 71億円)



現状・課題

- ▶ 予測困難なこれからの社会においては、**学校・家庭・地域が連携・協働し、社会全体で学校や子供たちの成長を支えることが重要**
- ▶ コミュニティ・スクールは、子供を取り巻く課題の解決に向けて、**保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持つ「当事者」として学校運営に参画**する学校運営協議会を置く学校（R5時点:18,135校、52.3%）
- ▶ **コミュニティ・スクールと社会教育活動である地域学校協働活動を一体的に推進**することで、**学校・家庭・地域が連携・協働して、自立的・継続的に子供を取り巻く課題を解決できる地域社会の実現を目指す**

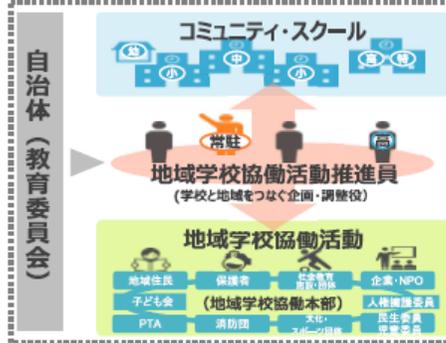
経済財政運営と改革の基本方針2023（令和5年6月16日閣議決定）

第4章 中長期の経済財政運営
5. 経済社会の活力を支える教育・研究活動の推進
(質の高い公教育の再生等)
教職の魅力向上等を通じ、志ある優れた教師の発掘・確保に全力で取り組む。教師が安心して本務に集中し、志高く誇りを持ってこどもに向き合うことができるよう、(略) **コミュニティ・スクール等も活用した社会全体の理解の醸成や慣習にとらわれない廃止等を含む学校・教師が担う業務の適正化等を推進する。**…(略)
安心して柔軟に学べる多様な学びの場の環境整備を強化する。(略) **地域を始め社会の多様な専門性を有する大人や関係機関が協働してきめ細かく教育に関わるチーム学校との考え方下、地域と連携したコミュニティ・スクールの導入を加速するとともに、**…(略)

事業内容

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する自治体の取組に対する財政支援

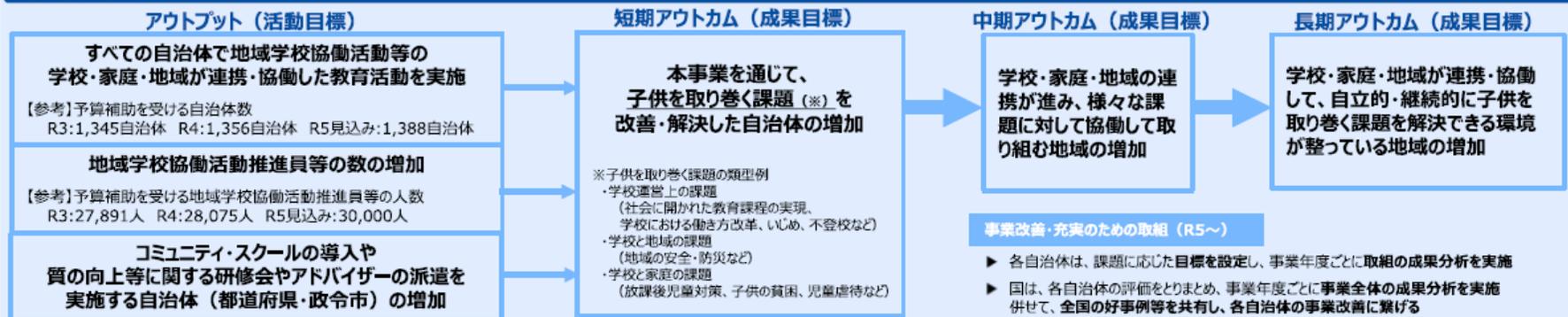
事業実施期間	平成27年度～
交付先	都道府県・政令市・中核市（以下「都道府県等」）
要件	①コミュニティ・スクールの導入または導入計画があること ②地域学校協働活動推進員等を配置していること
補助率	国1/3、都道府県等1/3、市区町村1/3
支援内容	地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等に係る諸謝金、活動に必要な消耗品等



具体的な取組

- ▶ **コーディネート機能の強化**
 - 引き続き**地域学校協働活動推進員等の配置を促進**
 - 学校における働き方改革や放課後児童対策などの**地域課題に応じ、専門性を活かした追加配置や、常駐的な活動等を支援**
- ▶ **地域学校協働活動の実施**
 - 学校における働き方改革に資する取組、**学習支援や体験・交流活動等を支援**
- ▶ **教育委員会の伴走支援体制の構築・強化**
 - **CSアドバイザーの配置促進**
 - **地域学校協働活動推進員等に対する研修の充実**

ロジックモデル



2 岩手県における地域と学校の連携・協働の現状

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

コミュニティ・スクール（全校種導入率）

令和2年 10.6% → 令和6年度 92.4%

地域学校協働活動推進員等

令和2年 114名 → 令和6年度 240名

地域学校協働本部

令和2年 142 → 令和6年度 236

地域学校協働本部整備率

令和2年 47.8% → 令和6年度 74.4%

2 岩手県における地域と学校の連携・協働の現状

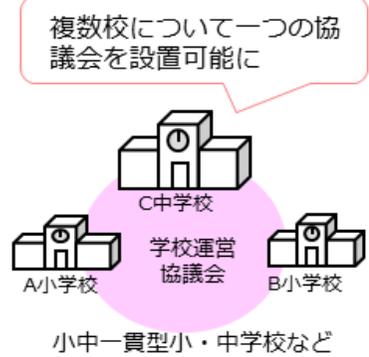
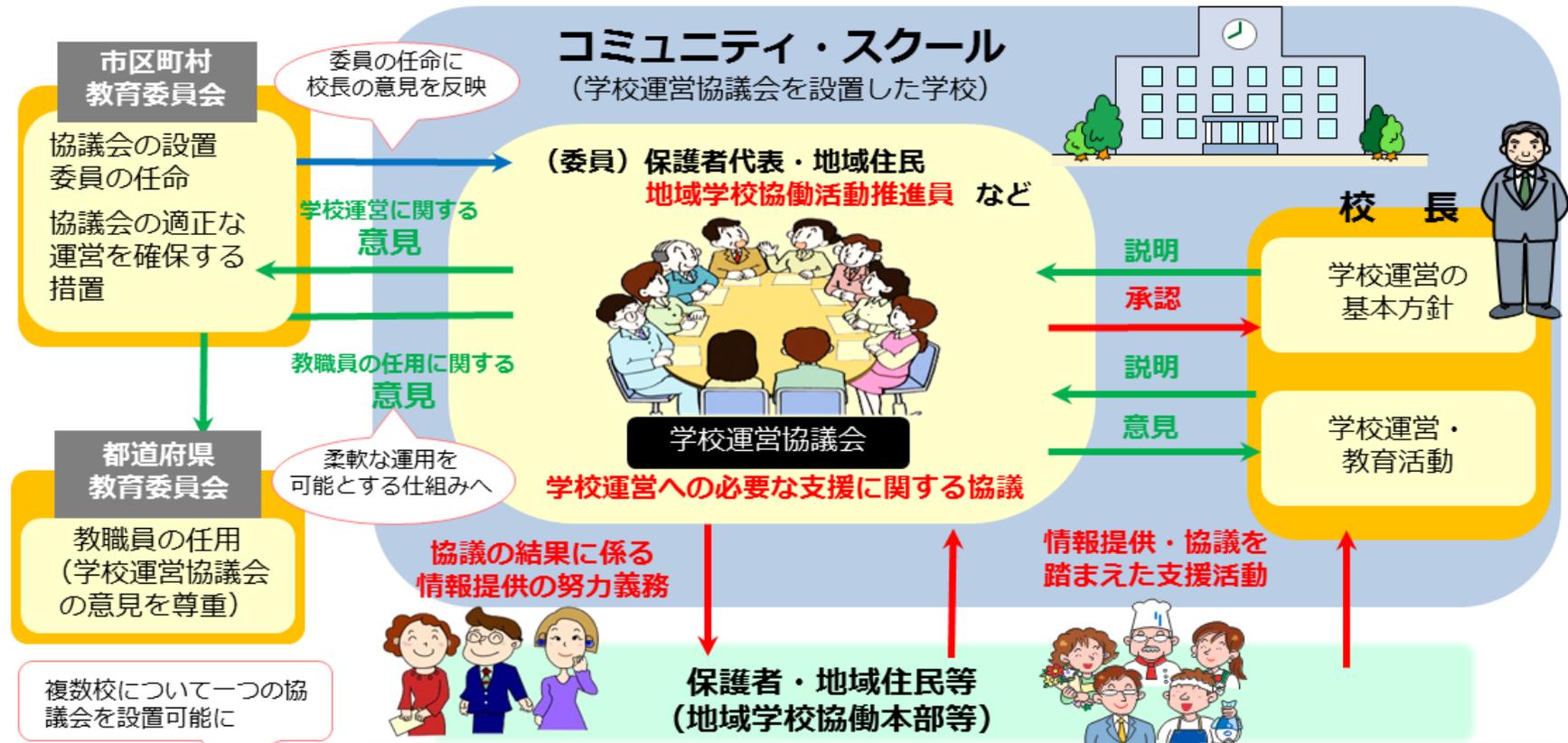
関係者の資質向上

※太丸はメインターゲット

	推進 フォーラム	地域学校 協働活動 推進員等 研修会	学校と地域 の連携・協 働研修会	地域学校協 働活動推進 員地区別研 修講座	教職員5年 研修	中堅教諭 等資質向 上研修	新任教務主 任研修会
学校 関係者	●	○	●	○	●	●	●
行政 関係者	○	○	●	○			
保護者・ 地域住民	○	○	○	●			
学校運営 協議会 委員	○	○	●	○			
地域学校 協働活動 推進員	○	●	●	●			

3 岩手県における地域と学校の連携・協働の課題

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



- <学校運営協議会の主な役割> 地教行法第四十七条の五
- 教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を設置
- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
 - 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができること
 - 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べるができること

3 岩手県における地域と学校の連携・協働の課題

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5」の改正について

1 趣旨

給特法の改正（令和8年1月施行）により、教員の処遇改善が進められるに伴い、地教行法の一部が改正（令和8年4月施行）されるもの。

2 新旧対照表

旧	新
4 対象学校の校長は、当該対象学校の運営に関して、教育課程の編成その他教育委員会規則で定める事項について基本的な方針を作成し、当該対象学校の学校運営協議会の承認を得なければならない。	4 対象学校の校長は、当該対象学校の運営に関して、教育課程の編成、 <u>当該対象学校における公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和四十六年法律第七十七号）第七条第一項に規定する業務量管理・健康確保措置の実施</u> その他教育委員会規則で定める事項について基本的な方針を作成し、当該対象学校の学校運営協議会の承認を得なければならない。

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議

十一、業務量管理・健康確保措置の実施における学校運営協議会の役割の重要性に鑑み、学校運営協議会の設置を推進するとともに、学校運営の支援機能向上、学校運営協議会委員の研修の改善と適切な処遇を行うこと。

3 岩手県における地域と学校の連携・協働の課題

3 対応例について

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）

【法改正により求められる事項】
校長が作成する「**基本的な方針**」に、
業務量管理・健康確保措置(※)の実施に関する内容を含める

学校運営協議会
学校運営や学校運営に必要な支援に関する協議を行う
校長が作成する**学校運営の基本的な方針**を承認

校長

①報告

学校における
・働き方改革の取組内容
・取組の実施状況等
について報告

報告

②協議

報告内容を基に、
・学校、保護者、地域住民等の業務分担の在り方
・業務の優先順位を踏まえた精選・見直し
等について協議

※その際、「学校・教師が担う業務に係る3分類」の「基本的には学校以外が担うべき業務」について、例えば、
✓保護者・地域住民等に対応を依頼することが出来ているか
✓その他の業務について教師の負担軽減に必要な支援が得られているかを確認。

④基本の方針の作成・承認

学校において講ずる
「**業務量管理・健康確保措置**」の内容を**基本的な方針**
に明記し、学校運営協議会の承認を得る。

意見

③体制構築等

必要な体制を構築するため、学校運営協議会として、
・外部機関、地域住民等との調整（ボランティア募集等）
・保護者・地域住民への情報提供
・教育委員会又は校長に対する意見提出等の対応を行う。

地域学校協働
活動推進員等が
コーディネート

説明

承認

意見

⑤アクション

保護者・地域住民等と連携
しつつ、業務量管理・健康
確保措置の適切な実施に取り
組む。

教育委員会



4 終わりに

1 公立学校の導入状況（令和7年3月31日現在） 小・中・義務教育学校 ※県立中学校含む

年 度	県 内				<参考>全 国	
	市町村	学校数（校）	導入数（校）	導入率（%）	導入数（校）	導入率（%）
平成29年度	4市町村	484	17	3.5	3,600	11.7
平成30年度	6市町村	472	30	6.4	5,432	14.7
令和元年度	6市町村	466	34	7.3	6,767	23.7
令和2年度	11市町村	451	60	13.3	8,681	30.7
令和3年度	17市町村	444	92	20.7	10,485	37.3
令和4年度	33市町村	432	277	64.1	13,519	48.6
令和5年度	33市町村	412	328	79.6	16,131	58.3
令和6年度	33市町村	408	379	92.9	17,942	65.3

全校種
 （幼稚園を除いた公立学校）
導入率 92.4%
 （令和7年3月31日現在）

2 コミュニティ・スクールの導入促進及び機能強化（マンネリ化防止）に係る取組

主な項目	令和7年度の取組
(1) 情報発信・共有 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクールの仕組みを確認するとともに、機能強化に係る取組事例の紹介及び熟議※1等の演習を実施。 (各教育事務所毎に実施 参考：R6 739名参加)
(2) 支援及び事例収集	<ul style="list-style-type: none"> 学校、各種団体等からの要請に応じた支援（訪問支援）の実施（CSポートフォリオ※2及び熟議の実施に係る支援も含む） 参考：R6 CSポートフォリオ実施市町村：八幡平市、遠野市、北上市 全国及び県内のコミュニティ・スクール導入市町村等からの情報収集
(3) 研修	<p>総合教育センター研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 中堅教諭等資質向上研修 新任教務主任研修講座 <p>教育事務所研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職経験者5年研修 <p>生涯学習推進センター研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）等研修会 学校と地域の連携・協働研修会

※1 熟議

学校と地域住民で「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話



岩手県の熟議に関する情報はこちらから

※2 CSポートフォリオ

文科省が開発した自校のコミュニティ・スクールの取組状況を診断（見える化）し、より良いコミュニティ・スクールにしていけるためのツール



岩手県のCSポートフォリオに関する情報はこちらから

みんなで話そう！
未来をつくらう！

人・つながり・地域づくり
関係職員等研修講座

熟議で地域を動かす！

ファシリテーション

実践研修*in平泉*

2025.9.1(月) 13:15~16:50



講師
紫波町教育委員会
社会教育指導員
兼CSコーディネーター
つとむ
佐々木 勉 氏

* 紫波町CSコーディネーターとして、地域づくりの研修会で豊富な指導経験をお持ちの佐々木氏を講師としてお迎えします。地域づくりの話し合いの場等で参加者の意見を引き出し、合意形成を効果的に導く技術を身に付ける研修会です。

- 会場 平泉町学習交流施設エピカ
- 定員 25名
- 対象 (1) 県・市町村教育委員会生涯学習・社会教育の担当者
(2) 市町村公民館・市民センター等職員
(3) 地域学校協働活動推進員等
(4) 学校関係者
(5) 地域づくりに携わる方、興味関心のある方

お申し込みはこちら
※切8月25日(月)



岩手県立生涯学習推進センター

花巻市北湯口第2地割82番地13
TEL 0198-27-4555
FAX 0198-27-4564

URL : <https://manabinet.pref.iwate.jp/>



令和7年度

放課後の子どもの居場所指導者研修会2

性暴力から子どもたちを守るには

2025.9.8(月) 9:50 ~ 12:00

講師

上智大学 総合人間科学部 心理学科

さいとう あずさ

准教授 齋藤 梓 氏



「横断指針」について学び、子どもの性暴力被害発生を防ぐために求められる対策や支援を学ぶ研修会です。

会場 岩手県立生涯学習推進センター

定員 会場参加:150名

オンライン(YouTubeライブ及びオンデマンド):無制限

- 対象 (1) 放課後児童クラブ及び放課後子供教室、放課後等デイサービス関係者
(2) 県・市町村教育委員会担当者、保健福祉部局担当者、放課後健全育成事業担当者
(3) 社会福祉協議会の担当者
(4) 学校関係者(小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員や保護者、大学関係者)
(5) 幼稚園・保育園・認定こども園等関係者及び保護者
(6) 県子育てサポーター、NPO法人等関係者、子ども食堂関係者、子育て支援に関わるすべての方

お申し込みはこちら
※切9月1日(月)



岩手県立生涯学習推進センター

花巻市北湯口第2地割82番地13
TEL 0198-27-4555
FAX 0198-27-4564

URL : <https://manabinet.pref.iwate.jp/>



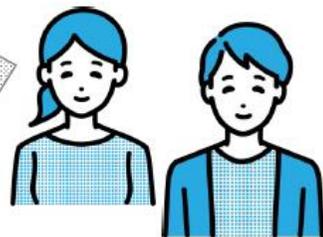
募集中

こどもの学びと体験 応援団

教振 60th
家庭学習・体験活動の充実



丸付けや、
小学生の
学習のサポートだっ
たら、空き時間で
できそう！



川遊びや
昆虫採集の
コツだったら教えら
れそうだし、一緒に
活動できますよ！

あなたの思い、趣味や資格が、
こども達のために役立ちます！
県内における生涯学習分野の
ボランティア及び指導者等に
関する情報収集・提供及び
コーディネートを行っています。
詳しくは裏面へ→



岩手県生涯学習情報提供システム
「まなびネットいわて」登録フォーム



教振 60th Education Promotion Initiative since 1965

教育振興運動：子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が、
それぞれの役割と責任を果たしながら、互いに連携して地域の
教育課題の解決に取り組む運動です。1965年から始まり、
令和6年度で60周年を迎えます。

教育振興運動推進プラン (2024~2028)

全国共通項目
各地域の教育課題、児童生徒の現状に鑑み、全国的な喫緊の教育課
題解決に資するため、全国共通課題として掲げ、取組を推進します。

家庭学習の充実



「確かな学力」を
支える学校以外の
学習環境の充実



体験活動の充実

健やかな成長を支
える多様な体験活
動の経験

←地域の大人が地域の子どもを育てる

岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化財課

幼児期に 本当に大切な学びって 何ですか？

幼児期は、「遊び」の中で周囲のヒト・モノ・コトに自ら進んで関わりながら、
豊かで多様な体験を通して、様々な「学びの芽」を育てていく時期です。
小学校以降の学びの基礎となる「学びの芽」。
そんな「学びの芽」はどのように育まれているのでしょうか？



見てね！

幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ



幼児教育は何のため？
(約2分)



「遊び」は「学び」って
どういうこと？
(約7分)



「学びの芽」を育て
多様な遊び
(約9分)



「学びの芽」を育て
どろだんご遊び
(約7分)



遊びは学び 学びは遊び
“やってみてが学びの芽”